

No.	018	—	3001	事務事業名	集排施設維持管理事業	細事務事業名	集排施設維持管理事業	公的関与	3				
PLAN	課名	下水道課	係名	管理係	電話番号	089-964-4417	メールアドレス	gesuido@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	9年度～年度				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	4 下水道等の整備		主要施策	(2) 農業集落排水施設の適正管理				
	事業の対象	農業集落排水施設				根拠法令	浄化槽法						
	事業の目的	最終的	適正な維持管理によって施設の機能発揮及び保持を行い、適正に汚水を処理し生活環境の向上と農業用排水及び公共水域の水質保全を行います。			今年度	適正な維持管理によって施設の機能発揮及び保持を行い、適正に汚水を処理し生活環境の向上と農業用排水及び公共水域の水質保全を行います。						
	活動内容	①	集落排水施設(処理場2箇所・マンホールポンプ場23箇所)の維持管理事務			④	緊急対応及び施設点検						
		②	汚泥処理に関する事務			⑤	調査・報告・届出関係事務						
		③	機器の維持修繕に関する事務										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標			
		水質(上林地区浄化センター)BOD(生物化学的酸素要求量)		水質汚濁防止法に定められた水質項目で、水の汚濁状態を表す。		mg/l	目標 20以下	20以下	20以下	20以下			
水質(拝志地区浄化センター)BOD(生物化学的酸素要求量)		水質汚濁防止法に定められた水質項目で、水の汚濁状態を表す。		mg/l	実績 6	5							
					目標 20以下	20以下	20以下	20以下					
DO	予算費目	会計	農業集落排水特別会計		費目名	運営管理							
	直接事業費	平成 26 年度決算		平成 27 年度決算		平成 28 年度予算		備考					
		国・県支出金	4,000 千円		0 千円		1,500 千円						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	13,103 千円		15,560 千円		26,600 千円						
		一般財源	29,245 千円		29,613 千円		29,324 千円						
	計(A)	46,348 千円		45,173 千円		57,424 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.349 人	2,099 千円	0.349 人	2,102 千円	0.349 人	2,081 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)	48,447 千円		47,275 千円		59,505 千円							
一次評価者	管理係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	農業用排水及び公共用水域の水質保全、快適な生活環境を維持するために必要であり、事業を廃止・休止することが出来ない事業です。												
有効性	民間委託により処理施設の機能を適正に保持し、放流水質の安定・向上を図り、公共用水域の水質保全に貢献しています。												
達成度	適正に維持管理を行い、適正に汚水を処理し、放流水の水質が良好な状態に保たれています。												
効率性	委託できるものについて民間委託を行っており、現在、維持管理事務について最小限の人員で行っています。将来は、維持管理の増加に伴い見直す必要があります。												
当面の課題	事業の完了後(運転開始)15年以上経過し施設の老朽化が進行する中、適切な下水道サービスを持続的に提供するため、施設の計画的かつ効率的・効果的なメンテナンス、維持管理が今後の課題となります。												
改 革 画	計画的なメンテナンスを行うにあたり、処理区統合を伴う機能強化対策をH29～33に実施する予定です。また、日常の維持管理において異常の早期発見に努め、緊急時には迅速かつ的確に復旧に向けた対応ができる組織を維持するとともに、放流水質を良好に保ち、快適な生活環境を提供するため、緊急時の迅速な対応、事故等の未然防止を図ります。												
二次評価者	下水道課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	機器の老朽化が進んでいますが、適切な修繕に努めてください。健全な施設管理を行うことは簡単ではありませんが、市民から見れば当たり前の事であることを肝に命じ、今後とも、危機管理体制の充実に努め、施設のメンテナンス等を計画的に行ない、安全・安心な下水道の施設管理に努めてください。												

No.	018	—	3003	事務事業名	農業集落排水使用料及び分担金徴収事務	細事務事業名	農業集落排水使用料・分担金事務	公的関与	3				
PLAN	課名	下水道課	係名	管理係	電話番号	089-964-4417	メールアドレス	gesuido@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	9年度～年度				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	4 下水道等の整備		主要施策	(2) 農業集落排水施設の適正管理				
	事業の対象	農業集落排水施設使用者、農業集落排水事業受益者			根拠法令	東温市農業集落排水施設条例、東温市農業集落排水事業分担金徴収条例							
	事業の目的	最終的	施設使用料及び事業分担金を適正に賦課するとともに、徴収率を高めます。			今年度	滞納対策について、債権管理準備室と協議を開始しました。						
	活動内容	①	使用開始届に基づき、下水道台帳への登録を行います。			④							
		②	検針データに基づき、下水道使用料を賦課徴収します。			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標			
		使用料現年分徴収率		収納額／調定額		%	目標 98	98	98	100			
					実績 96	98							
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	農業集落排水特別会計		費目名	運営管理		費					
	直接事業費		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	1,068 千円	1,047 千円	871 千円								
	計(A)	1,068 千円	1,047 千円	871 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.120 人	722 千円	0.120 人	723 千円	0.120 人	716 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		1,790 千円	1,770 千円	1,587 千円								
一次評価者	管理係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	下水道の整備により恩恵を受ける使用者(受益者)に対して賦課徴収を行う事務であり、負担の公平性を保つためにも継続して実施する必要があります。												
有効性	下水道事業の健全な運営に寄与するものであり、有効な事務です。												
達成度	現年分の未納者が継続して発生しており、対策を強化する必要があります。												
効率性	現年分の徴収事務については、水道課に委託し、水道料金と一体徴収することで事務の効率化を図っています。												
当面の課題	公平性の確保のため、引き続き収納率の向上に努めます。												
改革計画	現年度の徴収について滞納が発生した場合は、一体徴収をしている水道課と連携しながら、早期に対応し、新規未納者の解消に努めます。												
二次評価者	下水道課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	公平性を保つためにも、実効性のある滞納整理計画を立て、新規滞納者の発生抑制と、過年分の滞納者改善の取り組みに努めて下さい。税務課内に設置された「債権管理準備室」との連携を図ってください。												

No.	018	—	3004	事務事業名	下水道使用料、賦課徴収及び負担金関連事務			細事務事業名				公的関与	3
PLAN	課名	下水道課		係名	管理係		電話番号	089-964-4417		メールアドレス	gesuido@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	一部委託		実施計画	非該当		事業期間	13年度～年度		期間設定なし
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち			政策項目	4 下水道等の整備			主要施策	(5) 下水道事業の健全運営		
	事業の対象	公共下水道使用者、公共下水道受益者					根拠法令	下水道法、東温市公共下水道条例					
	事業の目的	最終的	下水道使用料及び受益者負担金を適正に賦課するとともに、徴収率を高めます。				今年度	滞納対策として、債権管理準備室と協議を開始しました。					
	活動内容	①	使用開始届に基づき、下水道台帳への登録を行います。				④	土地所有者へ申告書を送付し、受益者を確認します。					
		②	検針データに基づき、下水道使用料を賦課徴収します。				⑤	受益者に対して受益者負担金の徴収を行います。					
		③	新規供用開始区域について、賦課区域の公告を行います。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標		
		使用料現年分収納率	収納額／調定額			%	目標	98	98	98	100		
			実績	99	99								
負担金現年分収納率		収納額／調定額			%	目標	96	98	98	100			
				実績		100	100						
DO	予算費目	会計	公共下水道特別会計			費目名	公共下水道事業			費			
	直接事業費	平成 26 年度決算		平成 27 年度決算		平成 28 年度予算		備考					
		国・県支出金	0千円		0千円		0千円						
		地方債	0千円		0千円		0千円						
		その他特定財源	1,593千円		1,494千円		1,675千円						
		一般財源	8,229千円		8,156千円		6,797千円						
	計(A)	9,822千円		9,650千円		8,472千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.981人	5,899千円	0.981人	5,908千円	0.981人	5,851千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)	15,721千円		15,558千円		14,323千円							
一次評価者	管理係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	下水道の整備により恩恵を受ける使用者(受益者)に対して賦課徴収を行う事務であり、負担の公平性を保つためにも継続して実施する必要があります。												
有効性	下水道事業の健全な運営に寄与するものであり、有効な事務です。												
達成度	現年分の未納者が継続的に発生しており、対策を強化する必要があります。												
効率性	現年分の徴収事務については、水道課に委託し、水道料金と一体徴収を行うことにより事務の効率化を図っています。												
当面の課題	公平性の確保のため、引き続き収納率の向上に努めます。												
改革計画	現年度の徴収について滞納が発生した場合は、水道課と連携しながら早期に対応し、新規未納者の解消に努めます。												
二次評価者	下水道課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	公平性を保つためにも、実効性のある滞納整理計画を立て、新規滞納者の発生抑制と、過年分の滞納者改善の取り組みに努めて下さい。税務課内に設置された「債権管理準備室」との連携を図ってください。												



No.	018	—	3015	事務事業名	下水道施設維持管理事業	細事務事業名	施設維持管理事務	公的関与	3				
PLAN	課名	下水道課	係名	管理係	電話番号	089-964-4417	メールアドレス	gesuido@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	12年度～年度				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	4 下水道等の整備		主要施策	(5) 下水道事業の健全運営				
	事業の対象	公共下水道施設				根拠法令	下水道法						
	事業の目的	最終的	適正な維持管理によって施設の機能発揮及び保持を行い、適正に汚水を処理し生活環境の向上及び公共用水域の水質保全を行います。			今年度	適正な維持管理によって施設の機能発揮及び保持を行い、適正に汚水を処理し生活環境の向上及び公共用水域の水質保全を行います。						
	活動内容	①	公共下水道施設(処理場2箇所・マンホールポンプ場11箇所)の維持管理事務			④	緊急対応及び施設点検						
		②	汚泥処理に関する事務			⑤	調査・報告・届出関係事務						
		③	機器の維持修繕に関する事務										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標			
		水質(川内浄化センター) BOD(生物化学的酸素要求量)		水質汚濁防止法等に定められた水質項目で、水の汚濁状態を表す。		mg/l	目標 15以下	15以下	15以下	15以下			
水質(重信浄化センター) BOD(生物化学的酸素要求量)		水質汚濁防止法等に定められた水質項目で、水の汚濁状態を表す。		mg/l	実績 2.1	1.9							
					目標 15以下	15以下	15以下	15以下					
DO	予算費目	会計	公共下水道特別会計		費目名	施設管理費							
	直接事業費		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	156,039千円	159,298千円	189,622千円								
	計(A)	156,039千円	159,298千円	189,622千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.325人	1,954千円	0.325人	1,957千円	0.325人	1,938千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)	157,993千円		161,255千円		191,560千円							
一次評価者	管理係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	公共用水域の水質保全、快適な生活環境を維持するために必要であり、事業を廃止・休止することが出来ない事業です。												
有効性	技術力のある民間委託により処理施設の機能を適正に保持し、放流水質の安定・向上を図り、公共用水域の水質保全に貢献しています。												
達成度	適正な維持管理が行われており、処理された放流水の水質は良好な状態に保たれています。												
効率性	委託できるものについて民間委託を行っており、現在、維持管理事務について最小限の人員で行っています。将来は、効率性を上げるため、更なる委託方法の検討を行い、増大する維持管理業務の適性化に努めます。												
当面の課題	事業の完了後(運転開始)10年以上経過し施設の老朽化が進行する中、適切な下水道サービスを持続的に提供するため、施設の計画的かつ効率的・効果的なメンテナンス、維持管理が今後の課題となります。												
改 革 画	計画的なメンテナンスを行うにあたり、長寿命化計画を立てるため、H29に15年診断を予定しています。また、日常の維持管理において異常の早期発見に努め、緊急時には迅速かつ確に復旧に向けた対応ができる組織を維持するとともに、放流水質を良好に保ち、快適な生活環境を提供するため、緊急時の迅速な対応、故障等の未然防止を図ります。												
二次評価者	下水道課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	管理業者との連携を密にして、適切な施設管理を行うことは、安全、安心な生活環境の維持に不可欠です。今後とも、危機管理体制の充実を図り、施設のメンテナンス等を計画的に行い、水質保全に努めて下さい。												